

2人でケアする時の手順

クライアントモデル：美・エイジングサロン《チェンジ》代表・真愛 恵さん
セラピストモデル：デザイン事務所《DIVA》代表・末川マキさん

ご用意いただくもの：ヘナ／ボウル／マドラー／手袋／エプロン
・タオルなど汚れを防ぐもの／ラップ／ティッシュ／キャップ



①植物性のオイルでヘッドマッサージをします。
②ボウルに『サフランオレンジ』を入れ 50～60℃のお湯で溶きます。2分ほど混ぜるとプルプルになります。湯量は使うヘナの量の3～4倍ですが、手でぬる時は少しかために。ハケを使う時は少し柔らかめに。



③まず分け目を作り、見えている地肌にはヘナを塗りこむことだけに意識を集中します。地肌に塗り終わったら、左右どちらでも構いませんので5mm～1cmずらして新しく分け目を作り、また、地肌にヘナを塗ります。



④二人でケアする大きなメリットは耳の周囲、後ろ等の場所もケアしやすいことです。地肌に塗りこむことだけを考えながら、少しずつ分け目を作って、塗る作業を繰り返します。

ヘナケアポイント

- ・ご使用前にはパッチテストを行ってください。
- ・ヘナ使用量の目安は、ショート 30～50g ミディアム 50～70g ロング 70g～ですが、髪の毛の量、太さ、髪質などによって左右されますので自身の髪に合わせてご判断ください。
- ・はじめてヘナケアをなさる時には、この分量では足りなくなることが想定されますので、最初は多めにお使いください。定期的にヘナケアすることで、使用量は目安の幅に収まりやすくなります。
- ・天然色素が肌のたんぱく質に付きますので、ヘナを塗る時は手袋を着用してください。
- ・ケア中に額や耳たぶにヘナのペーストがついたまま長時間放置しますとその部分にも色がつきますので、早めに濡らしたタオルなどでふき取ってください。
- ・眉毛、まつ毛には使わないでください。



⑤頭皮全体にヘナが行きわたったら今度は根元から毛先にかけての、きちんと塗りこめていなかった部分のケアです。毛先はまとめてヘナを付けて、揉みこむだけでも入っていくやすいです。



⑥毛先にも行きわたったら、生え際にティッシュを置いてラップで髪をくるみます。
⑦ラップの上から保温のために、タオルやアルミキャップをかぶせます。



⑧白髪染めを主目的になさる方は20分。癒やしを目的になさる方はそれ以上でも構いません。
⑨二度染めの方はお湯で洗い、タオルドライします。
⑩『サフランオレンジ』だけで終了する方は、シャンプーをしても構いません。

ヘナケアポイント

- ・『サフランオレンジ』によるヘナケアには待ち時間がありますので、お風呂に入りながらでも快適に使えます。
- ・『サフランオレンジ』『トリートメントクリア』によるヘナケアの場合は、湯船の中で髪を洗って“ヘナ湯”にして二度楽しむことができます。ヘナ湯にしたお湯は、入浴後は沸かしなおしせずには排水し、浴槽をあらってください。
- ・『コーヒープラウン』『チョコレートプラウン』はヘナ湯にはできませんので、ご注意ください。
- ・ヘナケア後には、枕やタオルなどにヘナの色素がつく場合がありますので、ご注意ください。



⑪二度染めの方は、『コーヒープラウン』を使って②～⑦の手順を繰り返します。『コーヒープラウン』でしっかりと濃い茶系色に仕上げたい方は、⑦の状態でも40分放置してください。



⑫『コーヒープラウン』を洗い落とす時には、シャンプーをします。しっかり洗ってください。
⑬タオルドライをし、ドライヤーで乾かします。



⑭終了です。元の髪の毛が健やかな方は、初回からしなやかになった感想を持たれることが多く、毛が傷んでいた方は“ゴワゴワ感”のような感覚を持たれるケースがありますが、数回づついただくと、快適な髪質になります。

ヘナケアポイント

『サフランオレンジ』だけでケアをする時 保温して20分お待ちください。お湯で洗い流した後、シャンプーをします。リラクゼーションやエイジングケア目的の方は、お好きなだけ置いてくださって構いませんが色も濃く入ります。地肌にもついていますので、肌にも濃く入ります。地肌についたオレンジ色は数日で目立たなくなります。乗せておく時間は、ご自身で調整してください。

『コーヒープラウン』で二度染めをする時 白髪の量が多い方で『サフランオレンジ』でのケア後に『コーヒープラウン』で二度染めをする時は『サフランオレンジ』を10～20分置いた後、お湯で洗い流すだけでタオルドライをして髪の毛を半乾きの状態にします。この場合はシャンプーはしません。そして『コーヒープラウン』をお湯で溶いて②～⑦の手順を繰り返します。正面から鏡を見た時に気になる生え際など、オレンジ色が目立つ場所から『コーヒープラウン』を乗せていきます。『コーヒープラウン』によるケアの前にはオイルによるマッサージは行いません。濃い茶系色に仕上げたい時は40分～置いてください。軽い茶系色に仕上げたい時は20～40分の間で調整してください。